

一般財団法人品川ビジネスクラブ令和2年度（第10期）事業計画書

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

◆ 活動方針

品川ビジネスクラブは、公的産業支援機関として多様な事業展開を行いながら、品川区と連携して創業支援や区内中小企業の支援等に努めてきた。それらの事業の中でも、「ビジネス創造コンテスト」は、品川発、ビジネスクラブ発の新規事業の創出を目指して開催してきており、全国各地から新規ビジネスのアイデアが幅広く寄せられている。

令和2年度においても、ものづくり企業の支援とともに、「ビジネス創造コンテスト」およびコンテストと連動したハンズオン支援を通じて、ビジネスアイデアの事業化、ものづくり企業の新展開・成長を促進する。

これらの施策の展開に当たっては、品川区および産業関連団体等との連携を一層強化し、指定管理者として2期目を迎える品川産業支援交流施設（SHIP）における各種事業の効果も高めつつ、地域産業振興の中核機関としての機能の充実を目指す。

◆ 実施事業

I. 品川ビジネスクラブが実施する自主事業

1. 新規ビジネス創造事業

ビジネス創造コンテストおよびコンテスト関連事業を通じて、成長が期待される企業・人材の発掘・育成、ハンズオン支援によるビジネスアイデアの事業化（起業）およびものづくり企業等の新展開を促進し、品川ビジネスクラブ発となる新規ビジネスの創造を目指す。

(1) ビジネス創造コンテスト（品川区共催事業）

事業目的：成長が期待される企業・人材（ビジネスアイデア）の発掘

目標設定：応募件数（一般枠300件 区民枠80件）

品川発、ビジネスクラブ発となる新規ビジネス創出を目指すとともに、そのシーズとなる将来性が見込めるアイデア（組織・人材）の発掘を目指す。

「一般枠」については、幅広い視点から様々な社会課題を解決するための研究・開発アイデアを区内外から募集し、優れた提案には賞状および賞金等を贈呈する。中でも、新規性、実現性、市場性が極めて高いアイデアについては、これまでのファイナリストやアドバイザーとの交流、海外視察・プレゼンツアー、国内外のインキュベーター・投資家等にビジネスアイデアを提案できる機会等を設ける。また、ビジネスクラブのハンズオン支援プログラムの一部として、区内の協力機関（社会福祉法人や商連など）と連携しながら、当該団体のフィールドを活用したアイデアの社会実装の場を一定期間提供するほか、関係機関とのマッチングや資金調達など、アイデアに応じた個別支援を行う。

「区民枠」については、区内の小学生、中学生、高校生を対象に「私たちの暮らしに役立つ発明～

『日常の困った』を解決するために～」をテーマとした募集を行い、優秀なアイデアに対して賞状および副賞等を贈呈する。コンテストを通じて、児童・生徒・学生が自分たちの生活や暮らし方を振り返り、地域社会の在り方または自分の未来等を主体的に考える機会を提供する。また、アイデアの熟度に応じて製品化の支援も行い、ビジネスの面から社会を変え、明るい未来を切り開いていく楽しさを知る機会とする。関連イベントとして実施しているアイデア・ワークショップの参加者には、コンテストの応募を積極的に促していく。さらに、各学校をはじめとして区内教育機関との連携も強化し、コンテストを軸に、地域に根付いた起業家の育成を目指す。

	アイデア募集	書類審査	面接審査	最終審査&表彰式	インキュベーター・投資家等への提案機会	ハンズオン事業化支援
一般枠	10月1日～	12月	1月中旬	2月上旬	3月中旬	4月以降
区民枠	11月30日		-	※区民枠は表彰式のみ	-	-

(2) アイデア・ワークショップ

事業目的：ビジネス創造コンテスト（区民枠）のエントリー促進

目標設定：開催回数（3回）、ワークショップ参加者からのコンテスト応募件数（10件）

コンテスト（区民枠）のエントリーを促進するとともに、社会課題等を主体的に考える契機を提供することとし、小学生・中学生・高校生を対象に、創造力や問題解決能力を育むためのアイデア・ワークショップを開催する。

開催に当たっては、区内教育機関との連携を一層強化する。

【内容等】

対象：小学校高学年～中学生

基礎編：2回、人数：各回15人

応用編：1回、人数：15人

講師（予定）：シギョリテイ大学グローバルインパクトチャレンジ・オーガナイザー 齋藤 和紀氏

テーマ（案）：

- ・未来はどうなる！ 未来をどうしたい！
- ・知ろう！ 地球規模での社会課題
- ・誰でもできるイノベーション、イノベーションに必要なことは？
- ・新しい社会の創造とは？
- ・学ぼう会社の仕組み 仲間集めから上場まで

(3) 資金調達支援

事業目的：ビジネスアイデアの事業化に向けた資金調達、PR およびマーケティング機会の提供

目標設定：クラウドファンディングによる資金調達件数（4件）

ビジネス創造コンテストから輩出されたアイデアや、クラブ会員その他の区内事業者が有する製品・技術等を対象に、資金面を中心とした事業化支援およびPR・マーケティング機会の提供を図る。

また、品川ビジネスクラブ独自のクラウドファンディング支援をサイト運営企業（CAMPFIRE）等と連携して展開し、アイデアのブラッシュアップやPR等を促進する。

さらに、資金調達の手段が多様化している現状を踏まえ、個々のニーズやそれぞれの調達手段の特性、選択にあたっての判断のポイントなど、専門家を活用したスタートアップ向けの資金調達支援を行うこととし、ベンチャーキャピタルや金融機関、専門家等の協力を得て、資金調達に関するミートアップを随時開催する。

(4) ソーシャルビジネス等ハンズオン支援

ビジネス創造コンテストから輩出されたソーシャルビジネス等のアイデアや、会員、または新事業開発・新市場開発・生産性向上など意欲ある事業展開を考えている企業を対象として、事業化に向けたハンズオン支援を行う。

① 支援チームによるハンズオン支援

事業目的：ソーシャルビジネス等の事業化促進

目標設定：支援件数（4件）

品川ビジネスクラブが有するネットワークを活用した専門人材（ビジネス創出懇談会アドバイザーなど）による支援チームを編成し、コーディネートを行いながら実現に向けた取組を支援する。

【支援内容】

- ・専門人材による支援チームの編成とコーディネート
- ・経営戦略、資金調達、製品・技術開発、マーケティング、市場開拓などの支援
- ・アイデアのブラッシュアップ

試行～検証体制の整備（品川区、商店街、社会福祉法人、教育機関、製造業等との協力体制）

試作～検証支援（連携先委託）

- ・事業化に向けたマーケティングおよびクラウドファンディング等を活用した資金調達支援

② 研究会によるハンズオン支援

事業目的：ソーシャルビジネス等の事業化促進

目標設定：支援件数（2件）

案件に応じて登録自主研究会あるいは認定研究会制度の活用を提案しつつ、研究会制度を通じた事業化支援を行う。

【研究会支援内容】

登録自主研究会に対しては下記 1)～3)まで、認定研究会に対しては 1)～4)の支援を行う。

- 1) 会議室の無料使用
- 2) ゲスト講師料の助成
- 3) 各種経費補助
- 4) コーディネーターの配置
- 5) その他

(5) 産学連携アイデアソン

事業目的：ビジネスアイデアのブラッシュアップ・事業化の仕組みづくり

目標設定：開催回数（1回）

これまで、ビジネス創造コンテストに若者の視点で数多くエントリーしている品川女子学院や、社会課題を解決するスタートアップコミュニティの発展を目指す IoT 企業（五反田バレーの企業など）等とコラボレーションし、産学連携のアイデアソン(注)を開催する。

例えば、品川女子学院の生徒が考案したアイデアを、区内の IoT 企業がウェブアプリケーションを用いて具体化することなどが考えられ、事業化の仕組みづくりも視野に入れたアイデアソンとする。

事業の運営に関しては、アイデアソンを展開しているソニー(株)等との連携・協力も得ながら進めていくこととする。

(注) アイデアソン：「アイデア」(Idea) と「マラソン」(Marathon) を掛け合わせた造語。ある特定のテーマについて多様性のあるメンバーが集まり、対話を通じて、新たなアイデア創出やアクションプラン、ビジネスモデルの構築などを短期間で行うイベントのこと。

2. 新展開・成長促進事業

ものづくり企業をはじめとする品川ビジネスクラブ会員企業を中心に、新展開・成長に向けたきっかけおよびヒントの提供を行う。

(1) ビジネス創出懇談会

事業目的：製品・技術・サービスのブラッシュアップや、新分野進出のきっかけ・ヒント等の提供

目標設定：相談件数 9 件（年 3 回実施：各回 3 件ずつ）

一般的なコンサルタントとは違った視点から、目利きができるアドバイザーとのインタラクティブなディスカッションを通じて、相談者の技術・製品・サービス・ビジネスモデル等を再検証する。これらを通じ、大局的な見地からのブラッシュアップや応用可能性に関するヒントの提供、新事業展開、新市場開拓等の促進を図る。

具体的には、各界で活躍するアドバイザー 5 名が一堂に会し、幅広い視点からアドバイス（自社プレゼン 10 分とブレスト 40 分を 1 クールとした相談・懇談）を行う。

(2) ものづくり表彰

事業目的：小規模ものづくり企業等の事業意欲向上および従業員の士気向上

目標設定：表彰企業の選定件数（6件）

製品・技術開発や、改良、事業モデル開発等で地道な成果を上げている区内の小規模ものづくり企業等の事業意欲の向上および従業員の士気向上を図るとともに、これらの企業の活動内容について広くPRを行う。

表彰に当たっては、東京商工会議所品川支部、品川産業協会、東京都中小企業家同友会品川支部からの推薦をもとに、企業調査を行った上で、審査会を開催して対象企業を決定する（各産業団体より2件推薦）。

表彰企業に対しては、品川ビジネスクラブのwebサイト、Facebook、メルマガ、品川区のメルマガ、SHIPでの資料配布、プレスリリースによる情報発信を実施し、表彰式は品川ビジネスクラブ交流会と同時開催する。

(3) アドバイザーネットワークス

事業目的：会員を対象とした企業支援能力の強化

目標設定：参加登録者数（10名）

品川ビジネスクラブが、ビジネス創造コンテスト、ハンズオン支援、各種セミナー・MEET UP等の事業で広げた人的・組織的ネットワークの中から、特に質の高いアドバイザー（多数の具体的成果につながった企業支援実績等を有する人）を選抜し、クラブ会員がビジネス上の課題解決やブレークスルーを果たす上でのサポーターとして活躍していただく。

アドバイザーには定期的にSHIPを訪問いただき、単独または複数によるクラブ会員へのメンタリングを行っていただく。各アドバイザーの訪問については、事前にホームページ等で告知し、メンタリング希望者には事前にWEB上から登録フォームに相談内容等を記載してもらい仕組みとする。

3. ネットワーキング推進事業

会員に対して多彩な企業・人材とのマッチングの機会を提供するとともに、そうした機会を継続的、発展的に提供できるよう、他の企業・機関等との幅広い交流・連携を進める。

(1) ビジネスマッチング

事業目的：会員とコンテスト参加者、ものづくり表彰賞受賞者等との交流・マッチング

目標設定：交流・連携機会の提供（5件）

交流イベントを通じて、会員とビジネス創造コンテスト参加者、ものづくり表彰受賞者等との交流・連携、マッチング機会の提供を図る。

ものづくり表彰と交流会の同時開催、ビジネス創造コンテスト表彰と交流会の同時開催などにより、区内中小企業や、様々な技術・ビジネスアイデアを有する事業者・人材と、クラブ会員との交流・連

携を図るとともに、マッチングニーズの把握とその機会を提供する。

交流会の開催に当たっては、品川ビジネスクラブのネットワークを活かして、会員外の多彩な専門家、企業人、起業家等にも参加を呼びかけ、交流・連携の幅を広げるとともに、会員獲得の機会として活用する。また、交流会後には、ニーズに応じた個別マッチングにも取り組む。

交流イベントのほか、その時々旬なトピックに関するミートアップ（令和2年度は、AI・IoTに関するシリーズのセミナー等）、通常では訪問が難しい企業の施設見学等についても適宜実施する。

(2) ビジネス関連活動支援

事業目的：クラブ事業と関連する研究会や交流会等に対する支援を通じた新たな企業等との連携促進

目標設定：協賛・後援件数（5件）

官公庁、産業団体、産業支援機関、各種学会および企業等から依頼に応じて、クラブ事業と関連する研究会や交流会等に対して協賛・後援を行う。

II. 指定管理者関連事業

指定管理者として、品川区と連携して「品川産業支援交流施設」4階の交流施設（オープンラウンジ、オフィススペース、工房、会議室等）の管理運営を行うとともに、利用者と入居者等の交流促進、創業支援の取組を推進する。また、指定管理業務の共同事業者である株式会社マグネットスタジオとともに、下記の業務を行う。

(1) 事業の運営に関すること

① 運営管理

指定管理業務に関する事業計画の作成、各種事業の実施・調整およびイベントの企画・運営等

② 受付、案内および貸室業務

施設利用者の受付および案内ならびに鍵または備品の受け渡しおよび管理等

③ オフィスの運営

経営または技術相談に対応する専門員の配置等

④ オープンラウンジおよび多目的ルームの運営

インキュベーションマネージャー(IM)の配置による起業および創業等の各種相談対応

(平日：10～18時)

<主な業務内容>

- 1) ビジネスプランの評価、改善点および改善方法に関するアドバイス
- 2) 経営および労務等に関するアドバイス
- 3) 産業支援施策などの情報提供および施設活用へのアドバイス
- 4) ラウンジ会員およびオフィス入居者を対象とした交流連携プログラムの企画および運営

⑤ 工房の運営

<主な業務内容>

- 1) 各種機器の操作方法の習得および技術向上の支援
- 2) 区内中小製造業を対象とした技術革新サポート
- 3) 工房利用者層の拡大を目的としたセミナー・イベントの実施
- 4) 利用者のニーズに即した工房設備の充実・リニューアル

(2) 施設・設備の予約、使用承認および利用料金の徴収に関すること

① オフィス

使用の承認または更新にかかる審査業務および利用料金の徴収業務（減額・免除・還付含む）等

② オフィス以外（会議室、オープンラウンジ、工房、多目的ルーム）

施設・設備の予約等に関するシステムの構築および運営ならびに使用の承認および取消しにかかる業務等

(3) 産業振興事業に関すること

区および区内の他の創業支援施設等との連携により、新規創業の促進、新事業展開の契機となる多様な企業間交流機会の提供や産学公連携の支援など、区内中小企業の事業継続および発展を支える産業振興事業を幅広く実施する。

①創業支援セミナーの開催

起業・創業後間もない区民等を対象として、事業の成長発展のために必要なノウハウを提供するためのセミナーを開催する（前期、後期に分けて複数回のシリーズで開催）。

<主な業務内容>

- 1) 会社設立手続講座：会社設立の流れや手続きについて学ぶ講座
- 2) 事業計画作成講座：事業計画を作成したことのない初心者向けの講座
- 3) 資金繰り講座：資金繰りや金融機関からの借入れなど、資金調達のノウハウを学ぶ講座
- 4) 補助金講座：品川区等の補助金の内容や、申請方法、注意事項等について学ぶ講座
- 5) ホームページ作成講座：HP作成ソフトを用いて、HP作成のための基本的な技術を学ぶ講座

②各種相談会の開催（前期、後期各1回開催）

<主な業務内容>

- 1) 士業合同相談会：弁護士や税理士、社労士などの専門家を一堂に集め、個々の相談者の実情に応じて適切な相談が受けられる機会を提供
- 2) 資金調達相談会：政府系金融機関、メガバンク、信用金庫、クラウドファンディング運営会社等の協力を得て、SHIPの中で資金調達の相談が受けられる機会を提供するとともに、金融機関の担当者を招いた交流会等を企画

③交流イベントの開催

毎月の交流会（カフェ会）に加えて、6月と12月に大交流会を開催し、入居者の創業体験や、事業内容に関する情報発信等も行うことにより、相互交流の促進や、交流会開催後の事業展開に役立つ機会を提供する。

④工房を活用した事業

<主な業務内容>

- 1) SHIP 工房活用セミナー（SHIP Creativity Day）
3Dプリンタの操作方法、3Dスキャナーおよび3DCADデータの作成方法について学び、3D造形ができる技術者の養成を目的として、連続性を持たせたセミナーを開催する。
- 2) 新製品開発や試作品製作等の支援
区内中小製造業を対象とした、セミナーの開催、相談・コンサルティングを行いつつ、3D造形技術による製造ラインの改革を促す。
- 3) 工房の更なる活用
小学生等を対象とした夏休み3Dプリンター体験講座の開催や、福祉分野と連携したイベント等の開催を通じ、工房利用者層の拡大につながる取組を積極的に行う。

(4) 施設の維持管理業務に関すること

- ①建物の維持管理
清掃業務、各種設備等の点検業務等
- ②消耗品の管理
消耗品の購入・管理
- ③光熱水費の管理
光熱水費の取りまとめ、その支払いに関する業務
- ④修繕の実施
施設・設備等の修繕工事

(5) 緊急時の対応に関すること

- ①緊急時の対応
事件、事故および自然災害発生等の緊急時における迅速な対応
- ②訓練の実施
消防法等に基づいた消防訓練、防災訓練等の実施

(6) 事業計画および事業報告等に関すること

- ①事業計画等の作成・提出
事業計画書および収支予算書等を作成し、区へ提出
- ②事業報告等の作成・提出
月別事業報告書およびこれに基づく年度別事業報告書、収支決算書および利用実績等の統計資料を作成し、区へ提出

◆ 法人運営

1. 理事会および定時評議員会等の開催
予算または決算等の承認・報告、その他の重要事項の審議等を行う。
2. 事業進行管理会議の開催
施設の管理運営および産業振興事業等の運営状況等について、品川区と指定管理者（品川ビジネススクラブ、マグネットスタジオ）の担当者による会議を毎月開催する。